

# 東京の郊外調布市 神代植物公園と深大寺

企画委員会

季節のバラが咲く神代植物公園、温室には色とりどりのランなど珍しい花々がありました。バラ祭りの期間でもあり、大噴水を囲むバラの花壇は見事でした。

隣接の深大寺は五月の緑に囲まれていて、古刹の趣で厳かな境内でした。お目当て深大寺そばは、参道にある青木屋で二八そばを美味しく頂きました。

日時：2022年5月26日（木）日帰り

集合：京王線つつじヶ丘駅改札10時30分

解散：深大寺参道 午後2時

入場料：250円（神代植物公園65歳以上半額）各自払

費用：現地往復交通費、食事・飲み物他 各自払

リーダー：

参加者：会員15名

順路：集合；京王線つつじヶ丘駅→神代植物公園→大温室→昼食懇談→深大寺参拝→深大寺参道；解散

昼食 深大寺 門前前青木屋二八そば賞味

案内：リーダーから要所での説明

散策：2時間（9千歩）

特記：神代植物公園の案内では、園のボランティアさんを予定していましたが、コロナで不可になりました。Sさんご夫妻が、代役をお引き受けになりました。調布に長くお住まいなので、深大寺とのかかわりなどを含めての丁寧なご案内があり、一同感謝です。



緑濃い深大寺を背景に 記念写真

## 神代植物公園

屋外のバラ園と大温室を散策し、百花繚乱の競演を楽しみました。園内には4,800種類、10万本の植物がブロックに分かれて植えられていました。花咲く五月にふさわしく、どこを見ても花花で、とりわけバラが多種多色で圧巻でした。

ここのばら園は、2009年に世界バラ会連合優秀庭園賞を受賞しているそうで、ちょうど春のバラフェスタで、どちらを向いても魅力的なバラで、平地に並び、

立体平面に仕立て、バラのアーチに、赤色、黄色、絞り柄と、一重、八重、大輪、楚々とした中輪と、言葉ですべてを尽くすのは困難です。



## ■正門入口 入るといきなりサツキの立派な仕立て



## ■バラのアーチをくぐる WSC 一行様



## ■花壇のバラ 八重がふくよか、豊か



## 大温室の花々

3棟の全面ガラス張り、ラン、シヤクナゲなど趣向をこらして配置してありました。

■ラン競演 大振り色とりどりに



■スイレン 静かに赤、白、黄と



■小笠原諸島の珍しい植物 この公園は東京都立  
小笠原諸島は東京都 納得！



季節の歌を奏でる塔 カリヨン

温室を出たら 12時、目の前の銀色の塔が季節の歌  
3曲「アビニヨンの橋の上で」他を奏でました



大噴水 公園の中央部

両側のバラの色とりどりが噴き出す水に映り、水の  
揺らめきで噴水の踊り



深大寺 調布市

天台宗別格本山で山号は浮岳山の古刹です。本堂の  
国宝の宝冠阿弥陀如来像は、白鳳時代の作です。

この付近は、国分寺崖線からの豊富な湧き水があり、  
昔から住む人々の心に水神信仰をもたらしています。  
笹野實リーダーから、地誌のコピーで説明がありました。

■本堂 1918（大正7）年再建 存在感あり



■山門 1695（元禄8）年普請、境内で最古の建物



そば 青木屋

二八そばを賞味、深大寺の参道にありました



参道の鬼太郎茶屋 左側に主人公が・・・

漫画家水木しげる氏は、ここ調布市に50年居を構  
えていたのでゆかりの地です。新しいスポットです。

